

1 経過と現状

就学制度にかかる経過

平成 15 年 学校教育法施行規則改正…国の規制緩和により学校選択制が規定される
平成 20 年度 本市指定外就学の許可基準の一部見直し
平成 24 年 3 月～ 各区長と連携し学校選択制について意見を聴く
4 月～ 地域・保護者・PTA・公募委員等による熟議（全 13 回開催）
5 月 大阪市教育行政基本条例
7 月 大阪市立学校活性化条例
9 月 熟議「学校選択制」報告
10 月 「就学制度の改善について」

熟議における主な議論について

○就学制度改善の考え方

- ・子どもや保護者の意向に応じていく。
- ・通学上の安全に配慮する他、障がいのある子ども、いじめ等その他家庭的な事情等により課題があり、特に教育的な配慮を要する子どもたちについて配慮する。
- ・学校教育の活性化を図る。
- ・学校にとって、地域は重要な教育資源であり、学校、家庭、地域の連携を大切にする。
- ・制度の変更により生じうる他の課題に対応しながら、区の地域性や実情に即した改善の手法を選択する。

○就学制度改善の手法

区ごとに、区長は保護者を中心とした区民の意見を集約し、地域の実情に応じて

① 学校選択制

② 指定外就学の基準の拡大 等

の手法の中から選択し、又は複数の手法を組み合わせ、区の就学制度改善の方針案を策定

○期待されるメリット

- a 子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができる
- b 子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つ
- c 特色ある学校づくりが進められる
- d 開かれた学校づくりが進む 等

○課題

- a 通学区域外から通学する児童生徒の安全確保
- b 学校と地域との関係の整合性
- c 学校の施設収容面での制約 等

○通学区域制度についての考え方

- ・通学区域制度 … 就学すべき学校を指定するための制度 → 法令上の根拠なし
- ・学校選択制を実施する場合

- ① 現在の通学区域を取り払って、選択の自由度を高める
- ② 通学区域を残し、それをベースとして考える

- ・熟議で、通学区域を取り払って学校選択制を実施した場合について議論

【メリット】 子どもや保護者の学校選択の自由度が増す。

現在の通学区域に関わらず、希望する学校を選択できる。

【デメリット】 子どもや保護者が希望し、かつ最も近い学校に通えなくなることが起こりうる。

登下校の見守りやはぐくみネット事業など、これまで連携して取り組んできた学校と地域の関係が壊れる恐れがある。

- ・各区の学校教育フォーラムや小中学校区単位の意見交換会でも、通学区域を残し、居住する子どもを優先するという考え方に対し、異論はほとんどなかった。

⇒通学区域をなくすと

- ・児童生徒の選択により学校間の児童生徒数に大きな偏りが生じる恐れがある。
- ・家庭訪問や生活指導面など、学校運営において、いろいろな問題がおこるのではないか。
- ・学校ごとの今後の児童生徒数の見込みが困難となり、教室数の確保などの収容対策、学級編制など、教育環境を整備する上で様々な面に大きな影響を及ぼすのではないかな。
- ・まずは、自分の通学区域の学校に行くことが担保されて、別の学校に行くことがオプションであるという方が良いのではないかな。

熟議の結果として、学校選択制は通学区域を残すことを前提とする。



就学制度の改善について(平成 24 年 10 月策定)

教育委員会として、大阪の教育力の向上、充実を図り、教育の振興を推進し、子どもたちの最善の利益を図るため、子どもや保護者の意向に応え、各区の実情に即した本市小中学校の就学制度の改善を図る必要があるとの結論により学校選択制の制度化と指定外就学の基準の拡大を方向性とする「就学制度の改善について」をとりまとめた。



平成 26 年度入学から「学校選択制」を開始（初年度は小学校 6 区、中学校 12 区）

— 順次、各区で導入⇒平成 31 年度入学から全区（24 区）において実施 —

◇大阪市における学校選択制◇

学校選択制の実施状況

① 主な類型

- a 自由選択制 当該区内のすべての学校を選択
- b ブロック選択制 区内をいくつかのブロックに分け、そのブロック内の学校を選択
 [ブロック制]
- c 隣接区域選択制 当該通学区域と隣接する学校を選択
 [隣接制]

学校選択制の基本内容

① 選択の機会・対象者

- ◇ 選択の機会は、小中学校に入学する際の各1回のみ
- ◇ 対象は、新小学1年生及び新中学1年生

② 選択できる範囲

- ◇ 当面、1つの行政区内での学校選択とする。
- ◇ 通学区域は残し、通学区域内に居住する児童生徒は、必ず通学区域の学校に就学できる。

③ 各学校の受け入れ

- ◇ 学校選択による生徒数の増加を理由とした増築等の対応は、原則行わない。
- ◇ 受け入れ可能な学級数は、1学級分の増加を上限。

④ 学校選択の方法

- ◇ 学校希望調査票は期間内に全員が提出。
 (通学区域内の学校を希望する場合も提出)

⑤ 選択による優先 ※区によって異なる

- ◇ (a)～(d)を優先扱いが可能。(a)は必ず優先扱い)
 - (a) 通学区域内に居住
 - (b) きょうだい関係
 - (c) 自宅からの距離
 - (d) 進学中学校(選択した小学校の通学区域にある中学校)

⑥ 通学

- ◇ 原則徒歩で自転車の利用は禁止

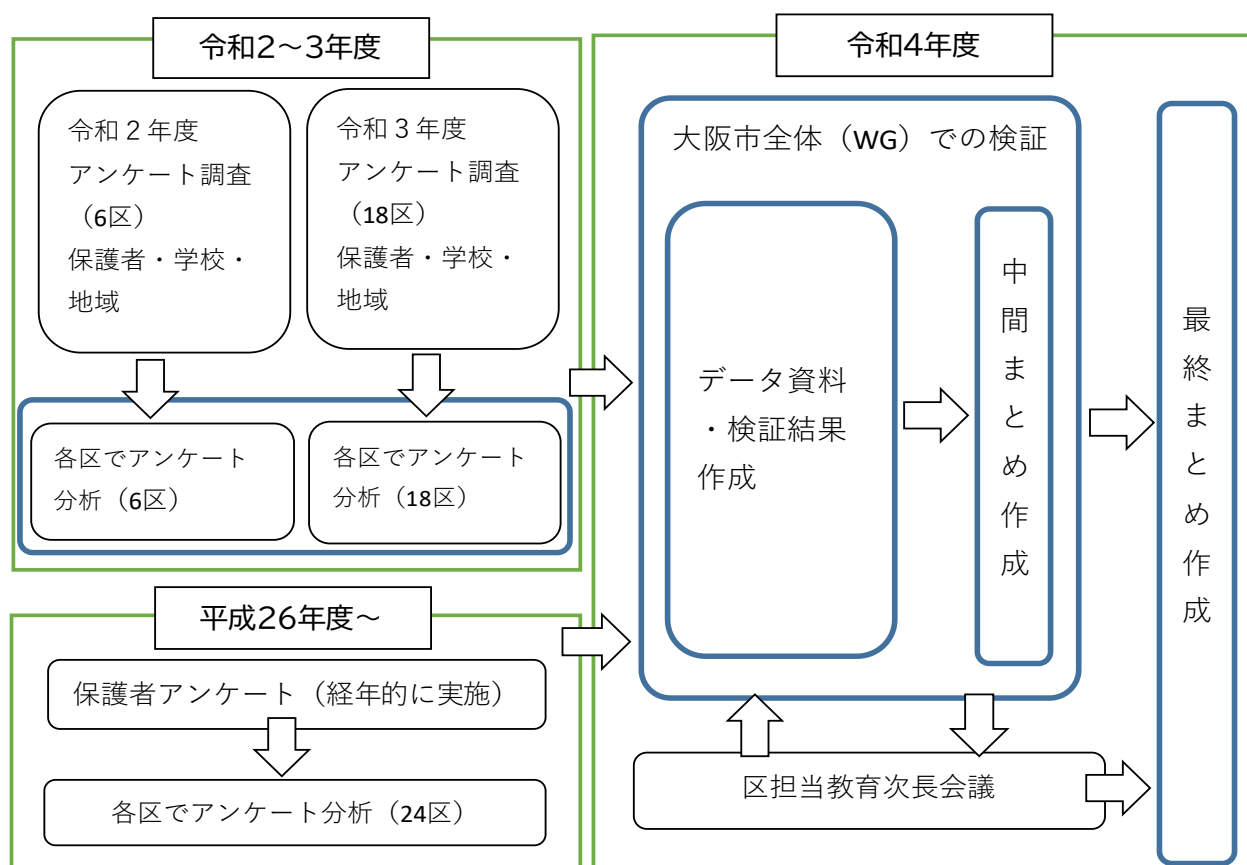
2 制度検証の趣旨目的

学校選択制が子どもや保護者の意向に応える就学制度であるかどうか。当初意図されたメリットが生じているか、デメリットが生じていないか。などその原因を分析し、対応策を提言していく。また、教育の連続性にも配慮し、小学校で最初の選択制を経験した学年が中学校に進学する際の状況も経たうえで検証することにした。

本市では、大阪の教育力の向上、充実を図り、教育の振興を推進し、子どもたちの最善の利益を図るため、子どもや保護者の意向に応じていく必要があるとの観点から、平成26年度入学者から開始し、平成31年度入学者からは、小学校・中学校とも全ての区で実施している。

地域の実情に即した制度とするため、具体的な制度の方針案を区ごとに策定し実施していることから制度として定着してきているものの、制度の導入から年数が経過していることから、導入時の「熟議」や「就学制度の改善」において期待されていたメリットや懸念されていた課題について、今後の各区及び市全体においてより良い制度として改善を行うための調査・分析を行うこととする。

検証のためのスキーム



3 検証の対象・組織・進め方

(1) 対象

検証に向けては、学校選択制の実施を担う 24 区において、学校選択制導入時の「熟議」や「就学制度の改善について」で期待されたメリットや懸念された課題をふまえ、今後の大阪市の学校選択制を考える上で考慮すべき項目として、全区共通の調査・分析のために 9 つの視点として設定し、令和 2～3 年度にアンケートを実施した。検証にあたっては、令和 2～3 年度のアンケートに加え、平成 26 年度から実施している保護者アンケートの調査結果・区ごとの分析結果等を活用し、大阪市全体の分析を行った。なお、分析にあたっては、外部有識者を含むワーキンググループを設置のうえ議論を行い、検証結果を作成した。

- 【視点①】 学校選択制の満足度かどうか
- 【視点②】 子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができるか
- 【視点③】 子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったか
- 【視点④】 特色ある学校づくりが進んだか
- 【視点⑤】 開かれた学校づくりが進んだか
- 【視点⑥】 児童生徒の通学の安全に課題が生じていないか
- 【視点⑦】 学校と地域、保護者の連携に課題が生じていないか
- 【視点⑧】 区や学校が提供する情報ではなく、風評等による学校の選択がなされていないか
- 【視点⑨】 学校選択制による児童生徒数の増減で、教育的課題が生じていないか

対象データ

○アンケート調査(令和 2 年度、令和 3 年度実施)

令和 2 年度、3 年度に区内の市立小・中学校に入学した児童生徒の保護者全員及び地域を対象に実施

○保護者アンケート

平成 26 年度（学校選択制導入時）～令和 2 年度に入学した児童生徒の保護者全員に実施

○地域アンケート

各区の地域団体関係者(小・中学校の学校協議会委員等)に実施

○学校状況調査

区内の全市立小学校・中学校を対象に実施

○その他

学校選択制によって通学区域外の学校に就学した者の割合、希望調査票の提出状況など

(2) 組織

学校選択制検証ワーキンググループ構成員

座長 川本 総務部長

座長代理 花月 学事課長

安倍 学力向上支援担当課長

中道 初等・中学校教育担当課長

第1教育ブロック 横内 区教育担当課長(西淀川区)

第2教育ブロック 中西 区教育担当課長(東成区)

第3教育ブロック 中野 区教育担当課長代理(住吉区)

第4教育ブロック 伊藤 区教育担当課長(東住吉区)

石井 南小学校長(校長会代表)

中西 花乃井中学校長(校長会代表)

外部有識者 大阪教育大学 森田 教授

桃山学院大学 中西 准教授

事務局 教育委員会事務局総務部学事課学事グループ

(3) 進め方

令和4年 6月 ワーキンググループ設置

区担当教育次長会議実務部会・教育委員会会議報告

7～8月 有識者の意見等も踏まえながら各視点の分析内容を議論

9月 中間まとめの作成

10月 区担当教育次長会議実務部会・教育委員会会議報告

11～12月 有識者と各視点のクロス分析などを確定し、検証結果案を作成

1月 区担当教育次長会議実務部会で検証結果案を報告・協議

3月 教育委員会会議で検証結果案を報告

学校選択制検証ワーキンググループ設置要領

(設置・目的)

第1条 本市では、大阪の教育力の向上、充実を図り、教育の振興を推進し、子どもたちの最善の利益を図るため、子どもや保護者の意向に応えていく必要があるとの観点から、平成26年度入学者から開始し、平成31年度入学者からは、小学校・中学校とも全ての区で実施している。

地域の実情に即した制度とするため、具体的な制度の方針案を区ごとに策定し実施していることから制度として定着してきているものの、制度の導入から年数が経過していることから、導入時の「熟議」や「就学制度の改善」において期待されていたメリットや懸念されていた課題について、今後の各区及び市全体においてより良い制度として改善を行うための調査・分析を行うこととする。

(協議事項)

第2条 ワーキンググループは、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 学校選択制にかかる検証・改善
- (2) 学校選択制にかかるアンケート等のデータ分析
- (3) その他学校選択制の検証に関わること

(組織の構成)

第3条 ワーキンググループは、別表に掲げる者並びに掲げる職にある者をもって構成する。

- 2 ワーキンググループに座長を置く。
- 3 座長は総務部長、座長代理は学事課長をもって充てる。
- 4 座長は、ワーキンググループを代表し、会務を総理する。
- 5 座長代理は、座長を補佐するとともに、座長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議の開催)

第4条 ワーキンググループの会議は、座長が招集する。

- 2 座長は、必要があると認めるときは、会議の議事に関係のある者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴取し、又は資料の提出を求めることができる。

(作業部会等の設置)

第5条 ワーキンググループの円滑な運営を図るために、作業部会等を設置する。

- 2 メンバーは、ワーキンググループに掲げるものをもって構成する。
- 3 作業部会等に、座長を置く。
- 4 座長は、学事課長をもって充てる。

(庶務)

第6条 ワーキンググループ、各作業部会等の事務局については、教育委員会事務局総務部学事課に置く。

(施行の細目)

第7条 この要領に定めるもののほか、ワーキンググループの運営に関し必要な事項は座長が定める。

附 則

(施行期日)

この要領は、令和4年6月1日から施行する。

別表

学校選択制検証ワーキンググループ構成員

座長	教育委員会事務局 総務部長
座長代理	教育委員会事務局 学事課長
	教育委員会事務局 学力向上支援担当課長
	教育委員会事務局 初等・中学校教育担当課長
	第1教育ブロック代表 区教育担当課長
	第2教育ブロック代表 区教育担当課長
	第3教育ブロック代表 区教育担当課長
	第4教育ブロック代表 区教育担当課長
	小学校長（校長会代表）
	中学校長（校長会代表）
外部有識者	大学教授 等
事務局	教育委員会事務局総務部学事課学事グループ

学校選択制検証データ

① 学校選択制利用状況(保護者アンケートより)

資料①

現在通っている学校

①小学校

	H26		H27		H28		H29		H30		H31		R2		R3	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 校区の学校	2,194人	93.3%	8,287人	93.4%	8,637人	92.2%	9,483人	91.6%	9,334人	90.1%	9,325人	88.9%	9,371人	88.1%	8,692人	85.7%
2 校区外の学校(学校選択制による)	142人	6.0%	488人	5.5%	517人	5.5%	744人	7.2%	825人	8.0%	998人	9.5%	1,025人	9.7%	1,100人	10.8%
3 校区外の学校(指定校変更による)	10人	0.5%	54人	0.6%	60人	0.7%	85人	0.8%	99人	1.0%	104人	1.0%	126人	1.2%	75人	0.7%
無回答	5人	0.2%	44人	0.5%	152人	1.6%	42人	0.4%	98人	0.9%	63人	0.6%	110人	1.0%	277人	2.8%
合計	2,351人	100.0%	8,873人	100.0%	9,366人	100.0%	10,354人	100.0%	10,356人	100.0%	10,490人	100.0%	10,632人	100.0%	10,144人	100.0%

②中学校

	H26		H27		H28		H29		H30		H31		R2		R3	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 校区の学校	2,920人	95.4%	7,362人	95.1%	6,932人	94.5%	7,066人	93.6%	6,501人	91.7%	6,913人	92.6%	7,417人	91.5%	6,764人	89.2%
2 校区外の学校(学校選択制による)	120人	4.0%	305人	4.0%	337人	4.6%	409人	5.4%	394人	5.6%	436人	5.8%	540人	6.7%	571人	7.5%
3 校区外の学校(指定校変更による)	13人	0.4%	41人	0.5%	40人	0.5%	41人	0.5%	43人	0.6%	70人	0.9%	65人	0.8%	67人	0.9%
無回答	7人	0.2%	33人	0.4%	25人	0.3%	35人	0.5%	148人	2.1%	48人	0.6%	77人	1.0%	180人	2.4%
合計	3,060人	100.0%	7,741人	100.0%	7,334人	99.9%	7,551人	100.0%	7,086人	100.0%	7,467人	99.9%	8,099人	100.0%	7,582人	100.0%

③合計

	H26		H27		H28		H29		H30		H31		R2		R3	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 校区の学校	5,114人	94.5%	15,649人	94.2%	15,569人	93.2%	16,549人	92.4%	15,835人	90.8%	16,238人	90.4%	16,788人	89.6%	15,456人	87.2%
2 校区外の学校(学校選択制による)	262人	4.9%	793人	4.8%	854人	5.1%	1,153人	6.5%	1,219人	7.0%	1,434人	8.0%	1,565人	8.4%	1,671人	9.4%
3 校区外の学校(指定校変更による)	23人	0.4%	95人	0.6%	100人	0.6%	126人	0.7%	142人	0.8%	174人	1.0%	191人	1.0%	142人	0.8%
無回答	12人	0.2%	77人	0.4%	177人	1.1%	77人	0.4%	246人	1.4%	111人	0.6%	187人	1.0%	457人	2.6%
合計	5,411人	100.0%	16,614人	100.0%	16,700人	100.0%	17,905人	100.0%	17,442人	100.0%	17,957人	100.0%	18,731人	100.0%	17,726人	100.0%

資料②

通学区域外の学校を選択した理由

	小学校の保護者					中学校の保護者			
	R2		R3			R2		R3	
1位	自宅から近く、通学しやすい	41.7%	自宅から近く、通学しやすい	43.9%	1位	やりたい部活動がある	34.4%	友達と同じ学校に行く	31.3%
2位	兄姉が通学している	29.8%	兄姉が通学している	31.6%	2位	友達と同じ学校に行く	28.1%	やりたい部活動がある	29.6%
3位	学校の校内環境が良い	28.5%	友達と同じ学校に行く	30.6%	3位	自宅から近く、通学しやすい	27.0%	自宅から近く、通学しやすい	26.4%
4位	友達と同じ学校に行く	25.0%	学校の校内環境が良い	27.5%	4位	学校の校内環境が良い	25.2%	学校の校内環境が良い	25.7%
5位	通学上の安全が確保されている	24.6%	通学上の安全が確保されている	24.8%	5位	教育方針や教育内容が良い	19.1%	教育方針や教育内容が良い	21.4%
6位	教育方針や教育内容が良い	20.8%	教育方針や教育内容が良い	17.9%	6位	兄姉が通学している	15.0%	選択制で選んだ小学校の選択先	17.2%
7位	児童数・学級数が多い学校だから	17.3%	児童数・学級数が多い学校だから	17.5%	7位	全国学力・学習状況調査などの結果	10.6%	全国学力・学習状況調査などの結果	13.5%
8位	児童数・学級数が少ない学校だから	14.0%	全国学力・学習状況調査などの結果	11.7%	8位	児童数・学級数が多い学校だから	9.3%	兄姉が通学している	12.6%
9位	全国学力・学習状況調査などの結果	12.5%	児童数・学級数が少ない学校だから	10.8%	9位	学校公開・学校説明会が良かった	9.1%	児童数・学級数が多い学校だから	9.8%
10位	学校公開・学校説明会が良かった	10.4%	学校公開・学校説明会が良かった	10.1%	10位	通学上の安全が確保されている	8.1%	学校公開・学校説明会が良かった	9.5%
11位	学校の施設設備が良い	5.3%	児童いきいき放課後事業が充実	5.5%	11位	選択制で選んだ小学校の選択先	7.7%	通学上の安全が確保されている	8.2%
12位	児童いきいき放課後事業が充実	4.5%	学校の施設設備が良い	4.7%	12位	卒業生の進路状況を見て	5.9%	卒業生の進路状況を見て	5.8%
13位	地域による学校支援が充実	1.4%	修学旅行など学校行事が充実	1.5%	13位	生徒数・学級数が少ない学校だから	5.0%	学校の施設設備が良い	4.7%
14位	修学旅行など学校行事が充実	1.1%	地域による学校支援が充実	0.6%	14位	学校の施設設備が良い	3.5%	生徒数・学級数が少ない学校だから	3.7%
					15位	修学旅行など学校行事が充実	2.2%	修学旅行など学校行事が充実	1.8%
					16位	地域による学校支援が充実	0.9%	地域による学校支援が充実	1.2%

② 各区の学校選択制運用状況

資料③

各区の学校選択制の種類

区	種類		区	種類		区	種類		区	種類	
	小学校	中学校		小学校	中学校		小学校	中学校		小学校	中学校
北	ブロック	自由	港	隣接	自由	東淀川	自由	自由	阿倍野	自由	自由
都島	隣接	自由	大正	自由	自由	東成	隣接	自由	住之江	自由	自由
福島	ブロック	自由	天王寺	隣接	自由	生野	自由	自由	住吉	自由	自由
此花	自由	自由	浪速	自由	自由	旭	隣接	隣接	東住吉	自由	自由
中央	自由	自由	西淀川	隣接	自由	城東	隣接	自由	平野	隣接	自由
西	隣接	隣接	淀川	隣接	隣接	鶴見	自由	自由	西成	隣接	自由

	自由選択制		隣接制		ブロック制	
小学校	11区	45.8%	11区	45.8%	2区	8.4%
中学校	21区	87.5%	3区	12.5%	0区	—

小学校	中学校	区数	
自由	自由	11区	45.9%
隣接	自由	8区	33.3%
隣接	隣接	3区	12.5%
ブロック	自由	2区	8.3%

※ブロック制は、北区・福島区の小学校

各区の優先関係

区	通学距離	きょうだい	進学中学校	区	通学距離	きょうだい	進学中学校	区	通学距離	きょうだい	進学中学校
北	×	×	×	天王寺	○	○	○	城東	×	×	×
都島	×	×	×	浪速	×	○	○	鶴見	×	○	○
福島	×	○	×	西淀川	○	○	○	阿倍野	×	○	×
此花	×	○	○	淀川	×	○	○	住之江	×	×	○
中央	×	○	○	東淀川	×	×	×	住吉	×	×	×
西	×	×	×	東成	×	×	×	東住吉	×	×	×
港	×	○小	×	生野	○小	○	○	平野	×	×	×
大正	○	○	○	旭	○	○	○	西成	×	○	×

※ ○小 小学校選択時

資料④

類型・優先関係別 学校選択制は大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。

小学校 選択類型	自由(11区)		隣接(11区)		ブロック(2区)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
思う	3,237人	76.3%	3,680人	75.3%	726人	75.7%	7,643人	75.8%
どちらでもない・無回答	743人	17.5%	900人	18.4%	177人	18.5%	1,820人	18.0%
思わない	262人	6.2%	310人	6.3%	56人	5.8%	628人	6.2%
合計	4,242人	100.0%	4,890人	100.0%	959人	100.0%	10,091人	100.0%

小学校 優先関係	きょうだい優先				通学距離優先				進学中学優先			
	あり(14区)		なし(10区)		あり(5区)		なし(19区)		あり(11区)		なし(13区)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
思う	3,669人	74.2%	3,974人	77.2%	1,070人	73.1%	6,573人	76.2%	2,900人	73.9%	4,743人	76.9%
どちらでもない・無回答	949人	19.2%	871人	16.9%	290人	19.8%	1,530人	17.7%	770人	19.6%	1,050人	17.0%
思わない	326人	6.6%	302人	5.9%	104人	7.1%	524人	6.1%	255人	6.5%	373人	6.1%
合計	4,944人	100.0%	5,147人	100.0%	1,464人	100.0%	8,627人	100.0%	3,925人	100.0%	6,166人	100.0%

きょうだい優先	あり		あり		あり		なし		なし	
通学距離優先	あり	(5区)	なし	(5区)	なし	(4区)	なし	(1区)	なし	(9区)
進学中学優先	あり		あり		なし		あり		なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
思う	1,070人	73.1%	1,533人	74.3%	1,066人	75.2%	297人	74.4%	3,677人	77.5%
どちらでもない・無回答	290人	19.8%	399人	19.4%	260人	18.3%	81人	20.3%	790人	16.6%
思わない	104人	7.1%	130人	6.3%	92人	6.5%	21人	5.3%	281人	5.9%
合計	1,464人	100.0%	2,062人	100.0%	1,418人	100.0%	399人	100.0%	4,748人	100.0%

中学校 選択類型	自由(11区)		隣接(11区)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
思う	4,808人	74.0%	724人	70.6%	5,532人	73.5%
どちらでもない・無回答	1,268人	19.5%	213人	20.8%	1,481人	19.7%
思わない	424人	6.5%	88人	8.6%	512人	6.8%
合計	6,500人	100.0%	1,025人	100.0%	7,525人	100.0%

中学校 優先関係	きょうだい優先				通学距離優先				進学中学優先			
	あり(13区)		なし(11区)		あり(4区)		なし(20区)		あり(11区)		なし(13区)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
思う	2,424人	72.0%	3,108人	74.8%	649人	69.5%	4,883人	74.1%	2,156人	72.2%	3,376人	74.4%
どちらでもない・無回答	686人	20.4%	795人	19.1%	210人	22.5%	1,271人	19.3%	590人	19.7%	891人	19.6%
思わない	257人	7.6%	255人	6.1%	75人	8.0%	437人	6.6%	241人	8.1%	271人	6.0%
合計	3,367人	100.0%	4,158人	100.0%	934人	100.0%	6,591人	100.0%	2,987人	100.0%	4,538人	100.0%

きょうだい優先	あり		あり		あり		なし		なし	
通学距離優先	あり	(4区)	なし	(6区)	なし	(3区)	なし	(1区)	なし	(10区)
進学中学優先	あり		あり		なし		あり		なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
思う	649人	69.5%	1,244人	73.2%	531人	72.4%	263人	74.5%	2,845人	74.8%
どちらでもない・無回答	210人	22.5%	317人	18.6%	159人	21.7%	63人	17.8%	732人	19.2%
思わない	75人	8.0%	139人	8.2%	43人	5.9%	27人	7.7%	228人	6.0%
合計	934人	100.0%	1,700人	100.0%	733人	100.0%	353人	100.0%	3,805人	100.0%

③ 学校選択制検証データ（保護者・学校・地域アンケートより）

資料⑤

学校選択制は大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。

小学生の保護者(通学の状況)		思う	どちらでもない・無回答	思わない	合計
全体		7,643人	1,820人	628人	10,091人
		75.8%	18.0%	6.2%	
校区の学校に通学している		6,349人	1,656人	584人	8,589人
		73.9%	19.3%	6.8%	
	校区外を希望したが、抽選に落選した	19人	5人	4人	28人
		67.8%	17.9%	14.3%	
	校区外の学校を希望したかったが、やむをえず校区の学校を選択した	214人	57人	42人	313人
		68.4%	18.2%	13.4%	
学校選択制により校区外の学校に通学している		636人	44人	14人	694人
		91.7%	6.3%	2.0%	

中学生の保護者(通学の状況)		思う	どちらでもない・無回答	思わない	合計
全体		5,532人	1,481人	512人	7,525人
		73.5%	19.7%	6.8%	
校区の学校に通学している		4,853人	1,376人	443人	6,672人
		72.7%	20.6%	6.7%	
	校区外を希望したが、抽選に落選した	25人	5人	4人	34人
		73.5%	14.7%	11.8%	
	校区外の学校を希望したかったが、やむをえず校区の学校を選択した	136人	26人	24人	186人
		73.1%	14.0%	12.9%	
学校選択制により校区外の学校に通学している		485人	52人	10人	547人
		88.7%	9.5%	1.8%	

	思う	どちらでもない・無回答	思わない	合計
地域団体	393人	177人	200人	770人
	51.0%	23.0%	26.0%	

資料⑥

校区外の学校を希望したが、やむをえず校区の学校を選択した理由

小学生の保護者

アンケート選択項目	人数	比率
希望する学校はあったが、通学の安全を確保することが難しいから	161人	35.2%
希望する学校が選択できる範囲外であったから	110人	24.0%
兄・姉が既に校区の学校に在学しているから	92人	20.1%
希望する学校の受入人数が少なかったから	38人	8.3%
その他	57人	12.4%
合計	458人	100.0%

その他理由	人数	比率
弟・妹が同じ学校に入学できる保証がない。	11人	2.3%
中学校進学時に再度選択制を利用しないと聞いたから	9人	2.0%
保護者の勤務場所等の事由により校区内を選択した	9人	2.0%
国立・私立等を受験したが不合格であった	7人	1.5%
引越をしたため	7人	1.5%
友人が校区の学校を選択したから	6人	1.3%
本人が最終的に校区の学校を希望した	4人	0.9%
学校説明会に参加したが良くなかった	4人	0.9%
合計	57人	12.4%

中学生の保護者

アンケート選択項目	人数	比率
希望する学校はあったが、通学の安全を確保することが難しいから	70人	29.5%
兄・姉が既に校区の学校に在学しているから	38人	16.0%
希望する学校が選択できる範囲外であったから	33人	14.0%
希望する学校の受入人数が少なかったから	29人	12.3%
その他	67人	28.2%
合計	237人	100.0%

その他理由	人数	比率
国立・私立等を受験したが不合格であった	25人	10.5%
友人が校区の学校を選択したから	17人	7.2%
引越をしたため	10人	4.2%
気に入ったクラブ活動がなかった	6人	2.5%
本人が最終的に校区の学校を希望した	5人	2.1%
敢えて校区外を選択する理由が見つからなかった	4人	1.7%
合計	67人	28.2%

資料⑦

「学校選択制は、大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思わない」と答えた主な理由

小学生の保護者

良い制度だと思わない理由	人数
児童数増減の影響がある	99人
通学区域内の学校へ行くべき	82人
公立学校は同じ教育内容であるべき	73人
遠方の通学区域外を選択した場合は通学が負担	28人
抽選等の理由により希望した学校に行けるとは限らない	26人
学校を選択できることが精神的に負担	24人
友人関係・地域との関係に影響する	24人
親の都合で選んでいる	22人
学力差ができるのではない	18人
区内での選択など制度内容に一部不満あり	17人
うわさ話で選択する人がいると思う	17人
校区の良し悪し、人間関係など教育に関係ない理由だけで選択すべきでない	16人
行きたい校区があれば引越すべき	11人

中学生の保護者

良い制度だと思わない理由	人数
公立学校は同じ教育内容であるべき・メリットを感じない	51人
通学区域内の学校へ行くべき	46人
生徒数増減の影響がある	42人
友人関係・地域との関係に影響する	26人
抽選等の理由により希望した学校に行けるとは限らない	21人
遠方の通学区域外を選択した場合は通学が負担	19人
学力差ができるのではない	18人
区内での選択など制度内容に一部不満あり	14人
校区の良し悪し、人間関係など教育に関係ない理由だけで選択すべきでない	12人
学校を選択できることが精神的に負担	9人
親の都合で選んでいる	8人
うわさ話で選択する人がいると思う	6人
行きたい校区があれば引越すべき	4人

地域団体

良い制度だと思わない理由	人数
校区外の児童・保護者と地域が連携できない	21人
子どもは地域で育てるもの	18人
良い制度であるという内容が見えない	8人
通学の安全性に不安がある	5人
保護者の都合で学校が選択されている	4人
学校間の格差が広がる	3人
児童数が減少する	3人
小学生には不向きな制度	3人
学業で選択されていない	2人
わざわざ遠くの学校へ行く必要があるのか	2人
大阪市の財政赤字を減らすための制度	1人
地域・学校に別の問題が起こっている	1人
地域外の子どもがわからない	1人
どこを選択しても変わらない	1人
ネット上の書き込み等により学校の人気に影響されている	1人
結びつきが強い地域には向かない	1人

資料⑧

学校選択制によって、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると思いますか。

	思う	思わない	わからない	無回答	合計
小学生の保護者	5,760人 57.1%	1,163人 11.5%	2,788人 27.6%	380人 3.8%	10,091人
中学生の保護者	4,610人 61.2%	1,056人 14.0%	1,637人 21.8%	222人 3.0%	7,525人

資料⑨

希望調査票の提出率（％）

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
小学生の保護者	73.5%	76.7%	77.1%	80.6%	82.4%	83.2%	84.1%	85.4%
中学生の保護者	73.2%	70.1%	71.6%	72.8%	72.5%	75.4%	77.4%	77.9%
合計	73.3%	73.3%	74.3%	76.7%	77.4%	79.3%	80.7%	81.6%

資料⑩

学校選択制を利用して通学区域外の学校に就学した児童生徒の割合（％）

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
小学生の保護者	5.1%	4.6%	5.3%	6.5%	7.5%	8.7%	9.0%	10.5%
中学生の保護者	2.9%	3.1%	3.7%	4.1%	4.7%	5.5%	6.0%	6.9%
合計	3.8%	3.9%	4.5%	5.4%	6.2%	7.2%	7.6%	8.8%

資料⑪

学校選択制によって、子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思いますか。

		思う	思わない	わからない	無回答	合計
小学生の保護者		6,148人	1,369人	2,376人	198人	10,091人
		60.9%	13.6%	23.5%	2.0%	
	校区の学校に通学している	5,096人	1,249人	2,110人	134人	8,589人
		59.3%	14.5%	24.6%	1.6%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	510人	50人	123人	11人	694人
		73.5%	7.2%	17.7%	1.6%	
中学生の保護者		4,199人	1,495人	1,630人	201人	7,525人
		55.8%	19.9%	21.6%	2.7%	
	校区の学校に通学している	3,618人	1,366人	1,508人	180人	6,672人
		54.2%	20.5%	22.6%	2.7%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	420人	68人	51人	8人	547人
		76.8%	12.4%	9.3%	1.5%	
学校状況調査（小学校）		91校	41校	どちらでもない 138校	16校	286校
		31.8%	14.3%	48.3%	5.6%	
学校状況調査（中学校）		38校	20校	どちらでもない 64校	8校	130校
		29.2%	15.4%	49.2%	6.2%	

資料⑫

学校選択制によって、特色ある学校づくりが進んだと思いますか。

		思う	思わない	わからない	無回答	合計
中学生の保護者		2,399人	2,223人	2,692人	211人	7,525人
		31.9%	29.5%	35.8%	2.8%	
	校区の学校に通学している	2,024人	2,012人	2,461人	175人	6,672人
		30.3%	30.2%	36.9%	2.6%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	261人	133人	142人	11人	547人
		47.7%	24.3%	26.0%	2.0%	
学校状況調査（小学校）		40校	55校	どちらでもない 175校	16校	286校
		14.0%	19.2%	61.2%	5.6%	
学校状況調査（中学校）		23校	24校	どちらでもない 74校	9校	130校
		17.7%	18.5%	56.9%	6.9%	

資料⑬

学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み(授業参観、学校公開など)が充実してきたと思いますか。

		思う	思わない	わからない	無回答	合計
中学生の保護者		2,171人	2,261人	2,860人	233人	7,525人
		28.8%	30.1%	38.0%	3.1%	
	校区の学校に通学している	1,858人	2,048人	2,574人	192人	6,672人
		27.8%	30.7%	38.6%	2.9%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	214人	130人	187人	16人	547人
		39.1%	23.8%	34.2%	2.9%	
地域団体（小学校）		311人	264人	149人	43人	767人
		40.6%	34.4%	19.4%	5.6%	
地域団体（中学校）		247人	232人	203人	81人	763人
		32.4%	30.4%	26.6%	10.6%	

※ 地域団体関係者770人のうち小学校の地域団体関係者として回答767人
中学校の地域団体関係者として回答763人

学校状況調査（小学校）	58校	55校	どちらでもない 153校	20校	286校
	20.3%	19.2%	53.5%	7.0%	
学校状況調査（中学校）	21校	27校	どちらでもない 77校	5校	130校
	16.2%	20.8%	59.2%	3.8%	

資料⑭

あなたのお子さんの通学の安全に課題が生じていると思いますか。

		課題がある	課題がない	わからない	無回答	合計
小学生の保護者		2,440人	4,361人	2,826人	464人	10,091人
		24.2%	43.2%	28.0%	4.6%	
	校区の学校に通学している	2,026人	3,785人	2,396人	382人	8,589人
		23.6%	44.1%	27.9%	4.4%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	199人	276人	187人	32人	694人
		28.7%	39.8%	26.9%	4.6%	
中学生の保護者		796人	4,265人	2,163人	301人	7,525人
		10.6%	56.7%	28.7%	4.0%	
	校区の学校に通学している	697人	3,781人	1,932人	262人	6,672人
		10.4%	56.7%	29.0%	3.9%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	69人	312人	145人	21人	547人
		12.6%	57.1%	26.5%	3.8%	

あなたの学校において通学の安全に課題が生じていますか。

	課題がある	課題がない	無回答	合計
学校状況調査（小学校）	157校	106校	23校	286校
	54.9%	37.1%	8.0%	
学校状況調査（中学校）	49校	74校	7校	130校
	37.7%	56.9%	5.4%	

資料⑮

通学区域外の学校を選択した理由（％）

小学校	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
1位	距離 (55.6%)	距離 (50.2%)	距離 (46.8%)	距離 (45.6%)	距離 (45.7%)	距離 (45.7%)	距離 (41.7%)	距離 (43.9%)
2位	友達 (35.9%)	環境 (34.6%)	友達 (34.8%)	校風など (33.3%)	友達 (31.4%)	兄弟 (28.8%)	兄弟 (29.8%)	兄弟 (31.6%)
3位	通学の安全確保 (30.3%)	友達 (30.1%)	校風など (31.5%)	友達 (29.7%)	校風など (31.2%)	校風など (28.6%)	校風など (28.5%)	友達 (30.6%)
中学校	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
1位	校風など (46.7%)	校風など (41.6%)	教育方針 (34.4%)	部活動 (36.9%)	部活動 (42.4%)	部活動 (39.9%)	部活動 (34.4%)	友達 (31.3%)
2位	教育方針 (32.5%)	教育方針 (35.4%)	校風など (33.5%)	校風など (33.3%)	校風など (24.9%)	校風など (32.3%)	友達 (28.1%)	部活動 (29.6%)
3位	部活動 (31.7%)	部活動 (33.8%)	部活動 (31.2%)	距離 (31.3%)	距離 教育方針 (23.9%)	教育方針 (29.8%)	距離 (27.0%)	距離 (26.4%)

資料⑯

学校選択制の導入により、あなたの学校における学校と地域、保護者の連携にどのような影響がありましたか。

	良くなった	変わらない	悪くなった	無回答	合計
学校状況調査（小学校）	7校	229校	28校	22校	286校
	2.4%	80.1%	9.8%	7.7%	
学校状況調査（中学校）	5校	101校	12校	12校	130校
	3.9%	77.7%	9.2%	9.2%	

◆「連携が悪くなった」原因として思うこと。

理由	件数
校区外児童との地域との関係が希薄	22校
P T A活動、役員の選任などに支障	8校
家庭訪問など教師の負担増	5校
登下校の見守りなど校区外児童の保護者が協力しない	4校

資料⑰

学校選択制の導入により、あなたの地域における学校と地域の連携にどのような影響がありましたか。

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない・無回答	合計
地域団体	24人	489人	74人	183人	770人
	3.1%	63.5%	9.6%	23.8%	

◆学校と地域の連携にどのような影響があったか、具体的なできごと（地域団体の主な意見）

○ 良くなった

学校選択制により近隣他校の様子を気にかけるようになった
地域外の子どもを受け入れるため学校と地域の関係がより密になってきた
地域行事で区域外の子どもの受け入れについて前向きに検討する機会が増えた

□ 特に変わらない・学校選択制の影響はない

以前から学校と地域はつながっており、学校選択制で何も変わらない
学校選択制が原因とは思わないが地域と学校の関りが昔ほど密になるのが難しい時代になったと感じる
学校選択制と関係なく、学校と地域の交流が増えた
学校選択制と関係なく、子育てや地域に対する意識が変わってきた
学校選択制とは関係なく、その時々で変化している
学校選択制に関係なく、子どもが減ってきている
地域と学校の連携に学校選択制は関係ない
就学先を地域以外にと考える人は、もともと地域活動に興味がない
学校選択制のみが原因ではないが、統廃合による校区拡大の弊害がある

● 悪くなった

校区外児童が地域行事に参加できない場合がある
校区外の児童の地域は別なので、地域子育ての機能が果たせていない
校区外の児童や家庭状況がわからない
校区外の保護者がPTA活動に参加しない
地域外の学校へ通う子どもに対して地域活動への参加が難しくなった
地域と学校で行う防災訓練で、地域外からの児童は避難場所への移動などの連携が取りにくい
校区外の児童がいるため子ども会活動がやりづらくなった

資料⑱

「地域の繋がりが薄くなってきている」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。

	思う	思わない	わからない	無回答	合計
地域団体	509人	212人	39人	10人	770人
	66.1%	27.5%	5.1%	1.3%	

◆「地域の繋がりが薄くなってきている」原因として思うこと。

理由	件数	割合
共働きが増え、PTA活動や地域活動に時間を割ける人が減ったから	281人	21.6%
地域活動や行事に関心のない人が多くなったから	272人	20.9%
地域活動の担い手が少なくなってきたから	270人	20.8%
マンションなど居住形態が変わって、地域のつながりが薄れているから	236人	18.1%
学校選択制を行ったことにより、子どもの顔が見えなくなってきたから	87人	6.7%
少子化のため、子どもに関する活動が少なくなってきたから	72人	5.5%
住民の転入転出が頻繁で地域で互いの顔がわからなくなっているから	51人	3.9%
その他	33人	2.5%
合計	1,302人	100.0%

資料⑱

あなたは、お子さんが通っている学校の行事(運動会、事業参観など)や、PTAの活動(親子レクリエーション、登下校の見守りなど)に参加していますか、又は参加しようと思っていますか。

		参加している	参加していない	無回答	合計
小学生の保護者		8,882人	856人	353人	10,091人
		88.0%	8.5%	3.5%	
	校区の学校に通学している	7,606人	709人	274人	8,589人
		88.5%	8.3%	3.2%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	613人	61人	20人	694人
		88.3%	8.8%	2.9%	
中学生の保護者		6,072人	1,178人	275人	7,525人
		80.6%	15.7%	3.7%	
	校区の学校に通学している	5,408人	1,033人	231人	6,672人
		81.0%	15.5%	3.5%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	440人	87人	20人	547人
		80.4%	15.9%	3.7%	

資料⑲

あなたのお子さんは、住んでいる地域の行事(祭り等)に参加していますか、又は今後参加しようと思っていますか。

		参加している	参加していない	無回答	合計
小学生の保護者		7,790人	1,930人	371人	10,091人
		77.2%	19.1%	3.7%	
	校区の学校に通学している	6,715人	1,583人	291人	8,589人
		78.2%	18.4%	3.4%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	504人	168人	22人	694人
		72.6%	24.2%	3.2%	
中学生の保護者		4,983人	2,250人	292人	7,525人
		66.2%	29.9%	3.9%	
	校区の学校に通学している	4,491人	1,940人	241人	6,672人
		67.3%	29.1%	3.6%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	314人	209人	24人	547人
		57.4%	38.2%	4.4%	
	校区の小学生の時に地域行事に参加していたかどうか	334人	151人	62人	547人
		61.1%	27.6%	11.3%	

資料㉑

あなたや他の方を含め、風評(うわさ)等による学校の選択が行われていると思いますか。

		思う	思わない	わからない	無回答	合計
小学生の保護者		3,132人	2,873人	3,710人	376人	10,091人
		31.0%	28.5%	36.8%	3.7%	
	校区の学校に通学している	2,616人	2,442人	3,233人	298人	8,589人
		30.5%	28.4%	37.6%	3.5%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	241人	209人	223人	21人	694人
		34.8%	30.1%	32.1%	3.0%	
中学生の保護者		2,038人	2,908人	2,256人	323人	7,525人
		27.1%	38.6%	30.0%	4.3%	
	校区の学校に通学している	1,753人	2,576人	2,056人	287人	6,672人
		26.3%	38.6%	30.8%	4.3%	
	学校選択制により校区外の学校に通学している	195人	213人	111人	28人	547人
		35.6%	39.0%	20.3%	5.1%	

区や学校が提供する情報ではない風評(うわさ)等による学校選択によって、あなたの学校に影響がありますか。

	影響がある	影響がない	わからない	無回答	合計
学校状況調査 (小学校)	42校	95校	129校	20校	286校
	14.7%	33.2%	45.1%	7.0%	
学校状況調査 (中学校)	15校	50校	60校	5校	130校
	11.5%	38.5%	46.2%	3.8%	

資料②

どのような方法で学校の情報を得たか

小学生の保護者		人数	比率
「学校案内」冊子を見た		4,560人	30.0%
学校説明会に出席した		3,234人	21.3%
学校のホームページを閲覧した		3,127人	20.6%
特に情報を得なかった		1,622人	10.7%
友人・知人に聞いた		1,217人	8.0%
学校公開に参加した		835人	5.5%
上記以外の方法（自由記述）		586人	3.9%
	兄弟が通学していた	(259人)	(1.7%)
	親が通学していた	(230人)	(1.5%)
	学校に電話で確認した	(28人)	(0.2%)
	個別に学校を見学した	(27人)	(0.2%)
	口コミサイト情報など	(23人)	(0.2%)
	区役所に相談した	(7人)	(0.0%)
	日頃から様子を見て知っていた	(6人)	(0.0%)
学校行事に参加した		(6人)	(0.0%)
合計		15,181人	

中学生の保護者		人数	比率
「学校案内」冊子を見た		3,356人	29.9%
学校説明会に出席した		2,354人	21.0%
学校のホームページを閲覧した		1,758人	15.6%
友人・知人に聞いた		1,703人	15.2%
特に情報を得なかった		1,446人	12.9%
学校公開に参加した		287人	2.5%
上記以外の方法（自由記述）		321人	2.9%
	兄弟が通学していた	(227人)	(2.0%)
	親が通学していた	(64人)	(0.6%)
	学校に電話で相談した	(17人)	(0.2%)
	個別に学校を見学した	(8人)	(0.1%)
	学校行事に参加した	(5人)	(0.0%)
合計		11,225人	

資料③

学校選択制による児童・生徒の増減によって、あなたの学校に教育的課題が生じていますか。

		課題がある		課題は 生じていない	無回答	合計
		増による課題がある	減による課題がある			
学校状況調査（小学校）	111校	72校	39校	170校	5校	286校
	38.8%	(25.2%)	(13.6%)	59.4%	1.8%	
学校状況調査（中学校）	49校	28校	21校	79校	2校	130校
	37.7%	(21.5%)	(16.2%)	60.8%	1.5%	

小学校・中学校

児童生徒数増による具体的課題	校数
教職員の負担増	35校
教室の不足	28校
学級数の関係により教室人数の増加	19校
校区外通学の安全確保	7校

小学校・中学校

児童生徒数減による具体的課題	校数
学級数の減	21校
教職員数の減	11校
学級編成が見込めない	6校
部活動・学校行事への影響	4校
男女比の不均衡	2校

資料④

令和4年度入学学校選択制における学級数別児童生徒数の増減率傾向

児童生徒数の 増減率	小学校				中学校		
	1～6学級	7～11学級	12～24学級	25学級～	1～6学級	7～11学級	12～23学級
▲20%以上	1校	0校	0校	0校	1校	1校	0校
▲15～19%	1校	0校	0校	0校	0校	1校	0校
▲10～14%	3校	2校	0校	0校	3校	2校	0校
▲5～9%	7校	8校	0校	0校	3校	6校	0校
▲1～4%	14校	34校	59校	5校	5校	20校	17校
増減なし	1校	3校	15校	0校	1校	2校	3校
1～4%	7校	24校	87校	5校	9校	10校	32校
5～9%	0校	2校	2校	0校	1校	3校	5校
10%以上	0校	0校	0校	0校	1校	0校	0校

※児童生徒数の増減率は「(通学区域外からの入学数－通学区域外への転出数)／児童生徒数」にて算出

令和 年度新入生の就学に関するアンケート～学校選択制等～

このアンケートの回答内容については、大阪市における学校選択制の実施状況の把握及び分析にのみ使用します。
ご回答いただいたアンケートの第三者への開示や、学校別のアンケート結果の公表はいたしませんので、率直なご意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆現在通っている学校と、校区の学校を教えてください。

現在通っている学校（ ） 小学校 校区の学校（ ） 小学校

問1 現在通っている学校は次のどれですか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。
1 校区の学校（→問2へ） 2 校区外の学校（学校選択制による）（→問4へ）
3 校区外の学校（指定校変更による）（→問4へ）

問2 【問1で1に○をつけた方にお尋ねします】
あなたは次のいずれに該当しますか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。
1 校区の学校が希望であった（→問4へ）
2 校区外の学校を希望したが、抽選等の結果、校区の学校となった（→問4へ）
3 校区外の学校を希望しなかったが、やむをえず校区の学校を選択した（→問3へ）

問3 【問2で3に○をつけた方にお尋ねします】
やむを得ず校区の学校を選択した理由は次のうちどれですか。
あてはまるものに○をつけてください<いくつでも>。
1 希望する学校が選択できる範囲外であったから 2 希望する学校の受入人数が少なかったから
3 希望する学校はあったが、通学の安全を確保することが難しいから
4 兄・姉が既に校区の学校に在学しているから
5 その他 ※具体的に教えてください
（ ）

問4 「希望調査票」は提出いただきましたか。あてはまるものに○をつけてください
1 提出した 2 提出しなかった

問5 どのような理由で学校を選びましたか。あてはまるものに○をつけてください<いくつでも>。
※学校選択制で校区外の学校を希望したが、抽選等により校区の学校に通学することとなった方については、学校選択制で希望した理由について選んでください。
1 自宅から近く、通学しやすいから
2 通学路の状況から、通学上の安全がより確保されているから
3 兄・姉が通学しているから 4 友達が同じ学校へ行くから 5 校区の学校だから
6 教育方針や教育内容が良いから 7 修学旅行など学校行事が充実しているから
8 はぐくみネットや元気アップなど地域による学校支援が充実しているから
9 「全国学力・学習状況調査」・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を見て
10 学校の校内環境（校風、伝統、雰囲気など）が良いから
11 学校公開・学校説明会の内容が良かったから 12 児童いきいき放課後事業が充実しているから
13 学校の施設設備が良いから 14 児童・生徒数、学級数が多い学校だから
15 児童・生徒数、学級数が少ない学校だから
16 その他、上記以外で校区の学校に行きたくない事情があったなど※具体的に教えてください
（ ）

問6 通学路の安全や通学距離、通学に要する時間等について確認されましたか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。

- 1 希望調査票を提出するまでに確認した
- 2 希望調査時点では確認していなかったが、入学までに確認した
- 3 兄・姉がいて、既に確認できていたので、改めて確認はしていない
- 4 3以外で、特に確認はしていない

問7 どのような方法で学校の情報を得ましたか。あてはまるものに○をつけてください<いくつでも>。

- 1 「学校案内」冊子を見た 2 学校公開に参加した 3 学校説明会に出席した
- 4 学校のホームページを閲覧した 5 友人・知人に聞いた
- 6 上記以外の方法 ※具体的に教えてください
（ ）
- 7 特に情報を得なかった

問8 「学校案内」はどの程度参考になりましたか。もっともあてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。

- 1 大変参考になった 2 ある程度参考になった
 - 3 あまり参考にならなかった 4 まったく参考にならなかった
- ※3・4に○をつけた方はその理由をお書きください
（ ）

問9 【問8で1・2に○をつけた方にお尋ねします】
「学校案内」の各学校のページについて、どの情報が役に立ちましたか。あてはまるものに○をつけてください<いくつでも>。
1 学校基本情報（所在地、児童生徒数・学級数、学校案内図、校舎や運動場の面積等）
2 沿革 3 教育目標、教育方針、めざす生徒（こども）像等 4 運営に関する計画
5 「全国学力・学習状況調査」・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果等
6 学校の特色ある取組 7 学校行事の内容 8 標準服の有無
9 その他 ※具体的に教えてください
（ ）

問10 【問7で2・3に○をつけた方にお尋ねします】
学校公開・学校説明会はどの程度参考になりましたか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。
1 大変参考になった 2 ある程度参考になった
3 あまり参考にならなかった 4 まったく参考にならなかった
※3・4に○をつけた方はその理由をお書きください
（ ）

問11 学校公開・学校説明会について、参加しやすい日時はどれですか。あてはまるものに○をつけてください<3つまで>。
1 平日の午前 2 平日の午後 3 平日の夜間
4 土曜日の昼間 5 土曜日の夜間 6 日曜日の昼間 7 日曜日の夜間

問12 【問7で4に○をつけた方にお尋ねします】
学校のホームページはどの程度参考になりましたか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。
1 大変参考になった 2 ある程度参考になった
3 あまり参考にならなかった 4 まったく参考にならなかった
※3・4に○をつけた方はその理由をお書きください
（ ）

令和 年度新入生の就学に関するアンケート～学校選択制等～

このアンケートの回答内容については、大阪市における学校選択制の実施状況の把握及び分析にのみ使用します。
ご回答いただいたアンケートの第三者への開示や、学校別のアンケート結果の公表はいたしませんので、率直なご意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆現在通っている学校と、校区の学校を教えてください。

現在通っている学校（ ）中学校 校区の学校（ ）中学校

問1 現在通っている学校は次のどれですか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。
1 校区の学校（→問2へ） 2 校区外の学校（学校選択制による）（→問4へ）
3 校区外の学校（指定校変更による）（→問4へ）

問2 【問1で1に○をつけた方にお尋ねします】
あなたは次のいずれに該当しますか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。
1 校区の学校が希望であった（→問4へ）
2 校区外の学校を希望したが、抽選等の結果、校区の学校となった（→問4へ）
3 校区外の学校を希望しなかったが、やむをえず校区の学校を選択した（→問3へ）

問3 【問2で3に○をつけた方にお尋ねします】
やむを得ず校区の学校を選択した理由は次のうちどれですか。あてはまるものに○をつけてください<いくつでも>。
1 希望する学校が選択できる範囲外であったから 2 希望する学校の受入人数が少なかったから
3 希望する学校はあったが、通学の安全を確保することが難しいから
4 兄・姉が既に校区の学校に在学しているから
5 その他 ※具体的に教えてください
（ ）

問4 「希望調査票」は提出いただきましたか。あてはまるものに○をつけてください。
1 提出した 2 提出しなかった

問5 どのような理由で学校を選びましたか。あてはまるものに○をつけてください<いくつでも>。
※学校選択制で校区外の学校を希望したが、抽選等により校区の学校に通学することとなった方については、学校選択制で希望した理由について選んでください。
1 自宅から近く通学しやすいから 2 通学路の状況から、通学上の安全がより確保されているから
3 兄・姉が通学しているから 4 友達が同じ学校へ行くから 5 校区の学校だから
6 教育方針や教育内容が良いから 7 修学旅行など学校行事が充実しているから
8 はぐくみネットや元気アップなど地域による学校支援が充実しているから
9 「全国学力・学習状況調査」・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を見て
10 卒業生の進路状況を見て 11 学校の校内環境（校風、伝統、雰囲気など）が良いから
12 学校公開・学校説明会の内容が良かったから
13 中学校でやりたい部活動があるから 14 学校の施設設備が良いから
15 児童・生徒数、学級数が多い学校だから 16 児童・生徒数、学級数が少ない学校だから
17 学校選択制で選んだ校区外の小学校の進学先中学校だったから
18 その他、上記以外で校区の学校に行きたくない事情があったなど ※具体的に教えてください
（ ）

問6 通学路の安全や通学距離、通学に要する時間等について確認されましたか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。

1 希望調査票の提出までに確認した 2 希望調査時点では確認してなかったが入学までに確認した
3 兄・姉がいて、既に確認できていたので、改めて確認はしていない
4 3以外で、特に確認はしていない

問7 どのような方法で学校の情報を得ましたか。あてはまるものに○をつけてください<いくつでも>。
1 「学校案内」冊子を見た 2 学校公開に参加した 3 学校説明会に出席した
4 学校のホームページを閲覧した 5 友人・知人に聞いた
6 上記以外の方法 ※具体的に教えてください
（ ）
7 特に情報を得なかった

問8 「学校案内」はどの程度参考になりましたか。もっともあてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。
1 大変参考になった 2 ある程度参考になった 3 あまり参考にならなかった 4 参考にならなかった
※3・4に○をつけた方はその理由をお書きください
（ ）

問9 【問8で1・2に○をつけた方にお尋ねします】
「学校案内」の各学校のページについて、どの情報が役に立ちましたか。あてはまるものに○をつけてください<いくつでも>。
1 学校基本情報（所在地、児童生徒数・学級数、学校案内図、校舎や運動場の面積等）
2 沿革 3 教育目標、教育方針、めざす生徒（こども）像等 4 運営に関する計画
5 「全国学力・学習状況調査」・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果等
6 学校の特色ある取組 7 学校行事の内容 8 部活動の状況
9 卒業後の主な進路 10 標準服の有無
11 その他 ※具体的に教えてください
（ ）

問10 【問7で2・3に○をつけた方にお尋ねします】
学校公開・学校説明会はどの程度参考になりましたか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。
1 大変参考になった 2 ある程度参考になった 3 あまり参考にならなかった 4 参考にならなかった ※
3・4に○をつけた方はその理由をお書きください
（ ）

問11 学校公開・学校説明会について、参加しやすい日時はどれですか。あてはまるものに○をつけてください<3つまで>。
1 平日の午前 2 平日の午後 3 平日の夜間
4 土曜日の昼間 5 土曜日の夜間 6 日曜日の昼間 7 日曜日の夜間

問12 【問7で4に○をつけた方にお尋ねします】
学校のホームページはどの程度参考になりましたか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。
1 大変参考になった 2 ある程度参考になった 3 あまり参考にならなかった 4 参考にならなかった ※
3・4に○をつけた方はその理由をお書きください
（ ）

問 13 あなたは、お子さんが通っている中学校の行事（運動会、授業参観など）や、P T Aの活動（親子レクリエーション、登下校の見守りなど）に参加していますか、又は今後参加しようと思っていますか。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 参加している（しようと思っている） 2 ある程度は参加している（しようと思っている）
3 あまり参加していない（しようとは思っていない） 4 参加していない（しようとは思っていない）

※ 1 ～ 4 に○をつけた方はその理由をお書きください

（ ）

問 14 あなたのお子さんは、住んでいる地域の行事（祭り等）に参加していますか、又は今後参加しようと思っていますか。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 参加している（しようと思っている） 2 ある程度は参加している（しようと思っている）
3 あまり参加していない（しようとは思っていない） 4 参加していない（しようとは思っていない）

※ 1 ～ 4 に○をつけた方はその理由をお書きください

（ ）

問 15 あなたのお子さんの通学の安全に課題が生じていると思いますか。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 課題がある 2 課題はない 3 わからない

※ 1 と回答された方は、課題の内容及び改善のアイデアについて教えてください。

（ ）

問 16 大阪市では、学校案内や学校説明会、学校公開等において、各校の情報を提供しています。あなたや他の方も含め、風評（うわさ）等による学校の選択が行われていると思いますか。

あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない 5 わからない

※ 1 ・ 2 に○をつけた方へ、具体的にどの学校にどのような風評（うわさ）等がありましたか。

（ ）

問 17 学校選択にあたり、区役所や学校から提供されていた情報のほかに、どのような情報があればよかったと思いますか。

（ ）

問 18 あなたのお子さんが卒業した小学校は次のどれですか。あてはまるものに○をつけてください。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 校区の小学校 2 校区外の小学校（学校選択制による）
3 校区外の小学校（指定校変更による） 4 その他（私立・国立小学校等）

問 19 あなたのお子さんが卒業した小学校について満足していますか< 1 つだけ>。

- 1 満足している 2 ある程度満足している 3 あまり満足していない 4 満足していない

※ 1 ～ 4 に○をつけた方はその理由について、具体的に教えてください。

問 20 あなたは、お子さんが卒業した小学校の行事（運動会、授業参観など）や、P T Aの活動（親子レクリエーション、登下校の見守りなど）にどの程度参加しましたか。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 参加した 2 ある程度参加した 3 あまり参加しなかった 4 全く参加しなかった

※ 1 ～ 4 に○をつけた方はその理由をお書きください

（ ）

問 21 あなたのお子さんは、小学校のときに住んでいる地域の行事（祭り等）に参加していましたか。

あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 参加した 2 ある程度参加した 3 あまり参加しなかった 4 全く参加しなかった

※ 1 ～ 4 に○をつけた方はその理由をお書きください

（ ）

問 22 学校選択制によって、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると思いますか。

あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない 5 わからない

問 23 学校選択制によって、子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思いますか。

あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない 5 わからない

問 24 学校選択制によって、特色ある学校づくりが進んだと思いますか。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない 5 わからない

問 25 学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業参観、学校公開など）が充実してきたと思いますか。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない 5 わからない

問 26 学校選択制によって、学校における情報発信（学校だより、ホームページの更新など）が充実

してきたと思いますか。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない 5 わからない

問 27 学校選択制は、大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。

あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらでもない
4 どちらかと言えば思わない 5 思わない

※ 1 ～ 4 に○をつけた方はその理由をお書きください

（ ）

問 28 学校選択制度の改善に向けて、ご意見がありましたら自由に記述してください。

（ ）

学校選択制の調査・分析にかかるアンケート調査（地域団体関係者用）

このアンケートの回答内容については大阪市における学校選択制の実施状況の把握及び分析にのみ使用します。
ご回答いただいたアンケートの第三者への開示や、学校別のアンケート結果の公表はいたしませんので、率直な
ご意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【参考】大阪市における学校選択制について

大阪市では、小学校及び中学校に入学する際に、保護者が、通学区域の学校と通学区域外の学校の中
から就学先を希望することができる「学校選択制」を、平成 26 年度（2014 年度）入学者から各区で順
次導入してきました。

通学区域の学校には、必ず通うことができますが、各学校には施設面等での理由により通学区域外か
らの受入枠に限りがあることから、通学区域外からの希望者数が受入枠を超える場合は抽選となり、落
選した方は通学区域の学校に就学することとなります。

市全体において、「学校選択制」を利用して通学区域外の学校に就学される方の割合は年々増加して

問 1 学校選択制によって、あなたの地域の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業
参観、学校公開など）が充実してきたと思いますか。
あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

【小学校】< 1 つだけ>

1 思う

2 どちらかと言えば思う

3 どちらかと言えば思わない

4 思わない

5 わからない

【中学校】< 1 つだけ>

1 思う

2 どちらかと言えば思う

3 どちらかと言えば思わない

4 思わない

5 わからない

問 2 学校選択制によって、あなたの地域の学校における情報発信（学校だより、ホームページの更新など）が充
実してきたと思いますか。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

【小学校】< 1 つだけ>

1 思う

2 どちらかと言えば思う

3 どちらかと言えば思わない

4 思わない

5 わからない

【中学校】< 1 つだけ>

1 思う

2 どちらかと言えば思う

3 どちらかと言えば思わない

4 思わない

5 わからない

問 3 「地域の繋がりが薄くなってきている」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか？あてはまるも
のに○をつけてください< 1 つだけ>。

1 思う

2 どちらかと言えば思う

3 どちらかと言えば思わない

4 思わない

5 わからない

問 4 【問 3 で 1、2 に○をした方にお尋ねします】
それは何が原因だと思いますか？あてはまるものに○をつけてください< 3 つまで>

1 住民の転入転出が頻繁で、地域で互いの顔がわからなくなっているから

2 マンションなど居住の形態が変わって、地域のつながりが薄れているから

3 少子化のため、子どもに関する活動が少なくなったから

4 学校選択制を行ったことにより、子どもの顔が見えなくなったから

5 地域活動の担い手が少なくなってきたから

6 地域活動や行事に関心のない人が多くなったから

7 共働きが増え、P T A 活動や地域活動に時間を割ける人が減ったから

8 その他（ ）

問 5 学校選択制の導入により、あなたの地域における学校と地域の連携にどのような影響がありましたか。あ
てはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

1 連携が良くなった

2 特に変わらない

3 連携が悪くなった

4 わからない

上記のように考えた具体的な出来事などについて教えてください。

問 6 学校選択制は、大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。あてはまる
ものに○をつけてください< 1 つだけ>。

1 思う

2 どちらかと言えば思う

3 どちらでもない

4 どちらかと言えば思わない

5 思わない

問 7 問 6 でお答えいただいた理由について教えてください。

問 8 その他学校選択制度の改善に向けて、ご意見がありましたら自由に記述してください。

学校選択制にかかる状況調査

この調査の回答内容は、大阪市における学校選択制に関する状況の把握及び分析に使用します。学校長が、学校選択制にかかる在籍校の状況について報告してください。

◆学校名 （ ）学校 ◆学校長名 （ ）

問1 学校選択制によって、あなたの学校において子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思いますか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらでもない
4 どちらかと言えば思わない 5 思わない

問2 【問1で1・2に○をした学校にお尋ねします】
具体的な取り組みとその成果について教えてください。※成果を示すデータがあれば、併せてお示してください（例 HP の閲覧数や学校行事等の参加者数の比較 他）

問3 学校選択制によって、あなたの学校における特色ある学校づくりが進んだと思いますか。
あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらでもない
4 どちらかと言えば思わない 5 思わない

問4 【問3で1・2に○をした学校にお尋ねします】
具体的な取り組みとその成果について教えてください。※成果を示すデータがあれば、併せてお示してください（例 学校教育アンケートの比較 他）

問5 学校選択制によって、あなたの学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業参観、学校公開など）が充実してきたと思いますか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらでもない
4 どちらかと言えば思わない 5 思わない

問6 【問5で1・2に○をした学校にお尋ねします】
具体的な取り組みとその成果について教えてください。※成果を示すデータがあれば、併せてお示してください（例 交流事業や学校開放日の参加者数の比較 他）

問7 学校選択制によって、あなたの学校における情報発信（学校だより、ホームページの更新など）が充実してきたと思いますか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。

- 1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらでもない
4 どちらかと言えば思わない 5 思わない

問8 【問7で1・2に○をした学校にお尋ねします】
具体的な取り組みとその成果について教えてください。※成果を示すデータがあれば、併せてお示してください（例 学校だよりの発行回数、ホームページの更新回数他）

問9 あなたの学校において、学校選択制により、通学の安全に課題が生じていますか。
あてはまるものに○をつけてください<1つだけ> 。

- 1 課題が生じている 2 課題は生じていない
※1に○をした学校は、そのように考えた具体的な出来事などを教えてください。

問10 学校選択制をふまえ、あなたの学校において、通学路の安全の確保のため、どのような対策を行っていますか。

問11 学校選択制の導入により、あなたの学校における学校と地域、保護者の連携にどのような影響がありましたか。あてはまるものに○をつけてください<1つだけ>。

- 1 連携が良くなった 2 特に変わらない 3 連携が悪くなった
※上記のように考えられる具体的な出来事などについて教えてください。

問 12 区や学校が提供する情報ではない風評（うわさ）等による学校選択によって、あなたの学校に影響がありますか。あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

- 1 風評等による影響がある 2 風評等による影響はない 3 わからない

※ 1 に○をつけた根拠となる具体的な出来事などについて教えてください。

問 13 学校選択制による児童・生徒の増減※によって、あなたの学校に教育的課題が生じていますか？あてはまるものに○をつけてください< 1 つだけ>。

※学校選択制と関連なく、通学区域の児童生徒数が増減していることによって生じている課題は含まない。

- 1 学校選択制による児童・生徒の増によって課題が生じている
2 学校選択制による児童・生徒の減によって課題が生じている
3 課題は生じていない

※上記のように考えられる具体的な出来事などを教えてください。

問 14 その他、学校選択制度の改善に向けて、ご意見がありましたら自由に記述してください。

学校選択制については、平成 26 年度入学から一部の区において制度を開始し、順次拡大のうえ、平成 31 年度入学から全区において実施しており、制度利用により居住区の通学区域以外の学校に就学している児童生徒については年々増加しているところであるが、より良い制度とするために制度導入の際に期待していたメリットや課題などについて、令和 2・3 年度に行ったアンケートの分析や今年度を実施した学校長との意見交換等をもとに、ワーキンググループでの検証を行った。

学校選択制は多くの保護者から良い制度であると評価されていることから、今後とも制度実施は必要と考えているが、各区の実情により設定されている優先の整理や類型について、今後さらに良い制度としていくために、時代の変化に伴った検討も必要ではないかと考える。

学校選択制は就学すべき学校の指定に先立ち、保護者が理由を問わず希望調査票の提出により学校を選択することが可能となる制度であるが、保護者は学校を選択するにあたり、学校のホームページや学校選択制の独自の取り組みである「学校案内」や「学校説明会」によって学校の特色ある取り組みなどの情報を収集しており、これらの情報発信が効果的に作用し、保護者が学校教育に深い関心を持つようになったことが検証から見えている。また、事実と異なる風評やいわれなき忌避意識をもって就学する学校を選ぶ事はあってはならないことであり、風評被害を防止するうえでも、今後とも積極的な正しい情報発信に努めるとともに、本市を取り巻く人権課題の克服に向け、人権教育・啓発にかかる施策を推進する。

通学路の安全確保については、学校選択制においても課題の一つであるが、小学校の選択理由の多くが自宅から学校が近いことを理由としていることから、学校選択制が安全確保の一役を担っているともいえるが、学校選択制に限らず通学路にかかる安全確保は課題であり、現在、関係各所において各種の取り組みが実施されており、社会全体で連携して取り組むことにより、安全確保の向上に繋がるものと期待される。

今回の検証によって保護者は適正規模の学校を選択している傾向が見えてきているが、学校規模の様に学校だけの努力では根本的な解決が困難な課題や、荒れた状況等が続き多くの児童生徒が他校へ転出している場合など、課題の固定化につながらないよう、区と連携して重点的に支援を行う必要があると考える。特に児童生徒数が過大な学校への受け入れについては、通学区域外からの転入が多くなると教室の確保など教育的課題がさらに増すと考えられることから、検討する必要があるように思われる。

今般の検証をもとに、学校の負担を軽減し、子どもたちの最善の利益を図るため、今後とも学校、区、関係機関と連携を図りながら、学校選択制などの就学制度そのものが今後とも良い制度となるよう取り組んでまいりたい。